



東京都
岡口歯科クリニック

植草 智史
先生

今回のアイテム

オプチボンドXTR/エヌ・エックス・スリー

審美的で予知性の高い間接法接着システム

審美的で予知性の高い間接法修復を行う上での重要なポイントとは、適合・良好な接着・セメント硬化後の強度などが挙げられます。その要点を満たす因子としてレジンセメントの選択は重要です。そこで、審美的で予知性の高い間接法接着システムである「エヌ・エックス・スリー」と「オプチボンドXTR」を紹介します。

「エヌ・エックス・スリー」の特徴は、デュアルキュアタイプのペーストにアミンが含有されているので、黄変が起きず、長期に渡り色調が安定します。これによりマージン部セメントラインの変色を防ぐことが可能であり、前歯部等の審美的に注意すべき症例にも向いています。

また、他社セメントと比較して「セメント硬化後の強度が高い」ので、セメントラインにおける摩耗が少なく、という長所も挙げられます。

「オプチボンドXTR」は、接着試験において「安定した高い接着力」を有しています。そのために歯質とインレー体が一体化し、インレー体部の破折の高い確率で防止できると考えます。

一方、プライマーやボンディング塗布後、薬品臭が発生するため、臨床時にはバキュームで臭気を除去する必要があります。患者さんへの声かけも怠らないことが必要です。

本症例は、ハイブリッドインレーの適合が良いので、特に浮き上がりに注意を払いました。このセメントは、流動性が若干低いので、インレー体へのセメント量を薄く塗布し、浮き上がらないように装着しました。

窩洞においては、XTRプライマー、アドヒーシブを塗布し、窩洞隅角部に液溜まりがないように、よく乾燥して薄く延ばしました。他社セメント使用の場合、光照射を行います。

本システムは光照射不要ですので、チェアタイムも短縮でき、診療負担が軽減されます。

インレー体には、エッチング処理後、XTRアドヒーシブを塗布、軽いエアブローを行い、セメントを適量塗布し、装着、研磨しました。

また、試適、装着前には、窩洞のプラークや仮着材などが残留しないようブラシやエキスカで除去することが大切です。



1. 術前。



2. トライインジェルを用いて試適し、色調、適合を確認します。



3. XTRプライマー塗布。



4. XTRアドヒーシブ塗布。



5. 光重合不要。但し、他社レジンセメントを使用の場合は光照射を行います。



6. ゲルエッチャントを用いて、インレー体をエッチング処理。



7. XTRアドヒーシブを塗布し、軽いエアで飛ばします。



8. エヌ・エックス・スリーのデュアルキュアタイプを塗布します。



9. 光照射。



10. セメントラインを研磨し完了。